

# ふれあい情報

## 2019年10月3日(木) 第305号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 野田那智子  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

# 2019年度運動方針の具体化を中央・地方で

## 2019年地方代表者会議を開催(9.18 ルポール麹町)

2019年高齢者集会の翌日、9月18日、地方代表者会議を開催しました。会議には本部役員、地方退連から代表者が参加し、運動方針の具体化について、意見交換を行いました。後半は連合生活福祉局長伊藤彰久さんに「公的年金の財政検証結果と連合の考え方」とする講演をいただきました。



会議の冒頭、人見会長は「安倍改造内閣は、お友達内閣・在庫一層内閣と言われている。憲法改正への意欲は変わらないので危惧する。全世代型社会保障の議論に連合代表が入っていない、心配だ」と挨拶。続いて、野田事務局長から運動方針の具体化、特に政策・制度要求実現に向けた取組みについて、「中央ではすでに政府・政党に要請行動を実施した。地方でも昨年度は600を越える自治体に要請行動をしていただいた。今年さらにも多くの要請をお願いしたい。核兵器廃絶に向けた1000万



講演「公的年金の財政検証結果と連合の考え方」 連合生活福祉局長伊藤彰久さん  
人口減少が進み、平均寿命も伸びる。公的年金は持続可能か。「2019年金財政検証」結果が発表されました。その内容と連合の考え方が話されました。  
(講演資料はホームページに掲載)

署名、退連150万筆、なんとしても集めよう」と提起しました。  
署名、退連150万筆、なんとしても集めよう」と提起しました。

続いて川端政策委員会担当常任幹事から2019年金財政検証について、「いたざらに不安に煽られることなく冷静に議論し、改革を求めていく」、野口組織委員会委員長(副会長)から「組織拡大・強化アクションプランの見直しを進める、2年に一度の組織実態調査については組織拡大の工夫を読み取れるようなものを実施したい」と提起しました。

市町村総合事業に移ったが、質と量の維持が難しい。もう一度介護保険に戻す要求を」  
「年金積立金の運用と管理を別建てに」「組織拡大・地域活動への参加、現役に認識を持たせるように努力を」  
本部役員から「①役員の欠員を早期に補充できるように役員推薦委員会で議論を進めていく。女性参画やっと見える形になってきた。努力していきたいのでご協力を、②後期高齢者の2割負担反対、介護保険被保険者の拡大は連合と一致している。介護保険要支援1・2の総合事業化後の実態を各自自治体要請で明らかにしてほしい、年金積立金を官製相場づくりを使うのは問題、③現役との対話の場、意思疎通を図る場合は大事、追求していききたい」などの見解が示されました。

### 意見交換

①宮崎・中村「後期高齢者医療費自己負担2割に反対、現職との共通認識になっているのか」②北海道・大西「早期に副事務局長の補充を、男女平等推進、加盟産別拡大を」③大分・佐藤「介護保険、要支援1・2は



### 人見会長・野田事務局長が挨拶

さる8月23日、連合第25回中央執行委員会が開催され、退職者連合人見会長、野田事務局長が挨拶をしました。人見会長からは、第23回定期総会が終了したことを報告し、「持続可能な社会保障制度をめざして、政策制度要求を決定し、政府政党への要請行動をおこなっている。安心の社会保障制度となるよう連合とも連携して取り組む」と挨拶。神津会長からも連帯の呼びかけがありました。

第23回定期総会において選出された新しい幹事



写真左から 平岡良久(日本退職教職員協議会)、清水孝一(鉄道退職者の会全国連絡会)、丹野充喜(東北ブロック・岩手)、武田康郎(東海ブロック・岐阜)

第1回幹事会において選出された常任幹事



政策委員会 川端邦彦(自治退) 組織委員会 大山勝也(JAMシニア) 男女平等参画推進委員会 本村富美子(日退教)



内閣府が主催する「2019年度エイジレスライフ実践事例及び社会活動事例」において表彰された、増田勝治さん(滋賀県退職者連合会長・UAゼンセン友の会)への表彰伝達が行われました。人見会長から代理伝達を受けた増田さんは、「なにはづに咲くやこの花冬冬もり今は春べと咲くやこの花」と競技かるたの序歌を読み上げました。「組合の必須研修で長いスパンで人生を考えることを学んだ。それがきっかけでかるたの世界に入った」「近江神宮がかるたのメッカと言われているのは百人一首の一番目の歌を詠んだ天智天皇が祀られているから」など、かるたにまつわる話も紹介されました。



「交流の広場」としてオープニングを飾ったのは今年も暁鼓遊(あかつきこゆう)のみなさんによる「創作和太鼓」の演奏。三年目です。演目は「神無月(かんなづき)・道」の2曲。体全身を使って力強い撥さばき、勇壮な響きの中にもリズムカルな音色。聞くものを奮い立たせる演技でした。続いて、秋谷知世子さん(自治退・高崎市役所退職者会)のリードによる「ラフターヨガで健康づくり」。ラフターヨガは笑いを一つのエクササイズ(運動)として行うもので、秋谷さんによれば普段は1時間半ぐらいのプログラムとか。短時間でしたが、会場いっぱいには笑いと運動が満ち溢れました。

2019年高齢者集会報告(その2)

地域からの報告

近畿ブロック

大阪退職者連合会長

林 晃さん

近畿ブロックから「秋のハイキング」の取組みが報告されました。「近プロで取組むようになったのは2000年から。今年のハイキングは『五国・兵庫』in播磨の国々世界文化遺産「白鷺城」を探訪しよう!!」を予定しているが今回で23回目になる。第1回(1997年)は240人の参加。大阪中心だったが、徐々に発展し、今は1500人規模に成長定着した。特徴は80歳以上の参加者が200人以上となっていること。団結・前進のためのツールとしプロ



デモまでの間ちよつと小唄(飯島貞親幹事・林退会)



デモ指示(芦沢春樹幹事・全水退)

ックの活動に大きな役割を果たしている。レクリエーション+運動とし大事にしていきたい。」

お達者活動の表彰・伝達式

ホームページは退職者連合で検索を  
退職者連合 検索